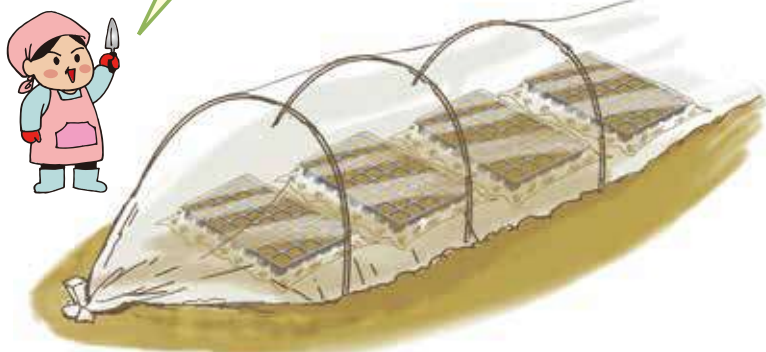


定植の2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料をまいて耕します。幅60cm、高さ15cm程度のうねを作ります。マルチは、うねをしつかり湿らせてから張りましょう。2条で株間30cmの千鳥植えにします。不織布をべた掛けしておくと、冬は防寒と霜よけ、夏は乾燥防止になります。秋栽培

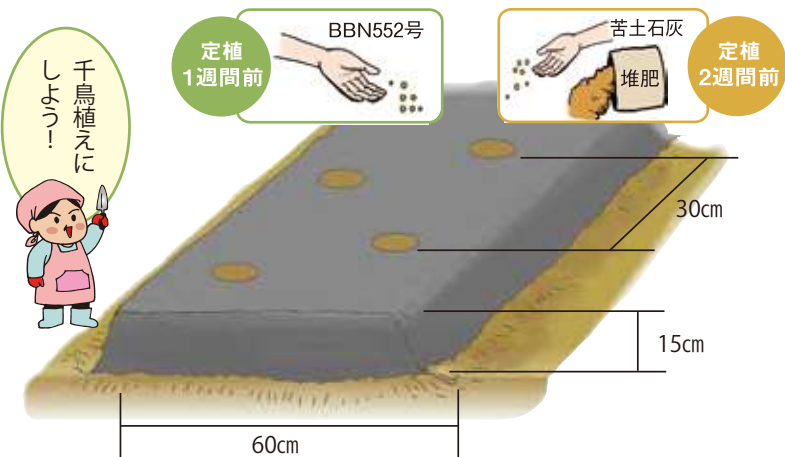
畑の準備・定植

ハウスではなく、畑など外に置く場合は、不織布を掛けたトレイなどをビニールトンネルの中に入れる



定植から1ヵ月半〜2ヵ月で収穫です。玉を上から軽く押してみ、締まってきた感覚と弾力があれば適期です。包丁で根元から切り取りましょう。リーフレタスの場合は、外葉から使う分だけかき取っていくと、収穫期間が長くなります。

収穫



は真夏に定植することになります。乾燥が怖いので、数日に一度など程度に合わせて水やりをしましょう。



草丈が23〜25cm程度で、芯葉が草丈の7〜8割ぐらいに盛り上がったところが収穫の目安です。外葉から少しずつかき取ると収穫期間が長くなります



レタスの頭を手のひらで軽く押さえてみて、弾力があり球がやや硬く締まったころ(8分結球ぐらい)、球の下方から切り取ります。切り口から出る乳液は、水を浸した布などでふき取ります

おすすめ資材

「花と野菜の種まき培土」
1,080円(税込) セルトレイ育苗におすすめ!
「しなの園芸培養土」
875円(税込) ポット育苗におすすめ!

※店舗によっては、お取り寄せになる場合がございます。
○お求め・お問い合わせは、グリーンファーム各店までどうぞ。



ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

◎中央店 ☎29-8177 ◎東部店 ☎62-0665 ◎西部店 ☎22-4091
◎さなだ店 ☎72-9030 ◎まるこ店 ☎42-2977 ◎よだくぼ南部店 ☎85-2400
◎しおだ店 ☎39-8118

気軽に家庭菜園

第235回
今月は

「レタス」に挑戦!

★これがレタスのスケジュールだよ。

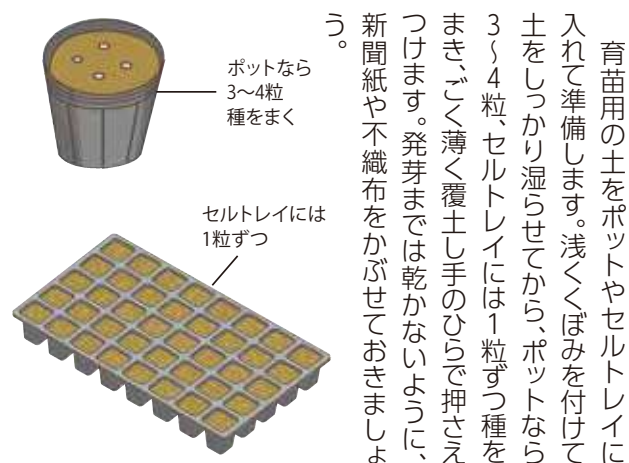
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		種まき	定植		収穫						
	春					種まき	定植	秋	収穫		

●施肥基準 (1㎡あたり・一例) ■苦土石灰100g ■堆肥2kg ■BBN552号100g

文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。



育苗



育苗用の土をポットやセルトレイに入れて準備します。浅くくぼみを付けて土をしつかり湿らせてから、ポットなら3〜4粒、セルトレイには1粒ずつ種をまき、ごく薄く覆土し手のひらで押さえます。発芽までは乾かないように、新聞紙や不織布をかぶせておきましょう。

採れたてのレタスはおいしいですね。レタスの命はパリパリの食感とみずみずしさ。大体の野菜は重量の85〜94%が水分ですが、レタスは96%が水分で他の野菜と比べても多いことが特徴的。なので「良い水が良いレタスを育てる」と言われたりします。スーパーや直売所ではOPSと呼ばれるフィルムに包まれてパリッと棚に並んでいたりしますが、このフィルムは酸素や二酸化炭素、水分を適度に通過してくれるもので、鮮度保持効果があります。今回紹介する栽培方法は、リーフレタスにも通じます。



レタスの発芽適温は15〜20度です。生育限界の最低温度は4度、最高温度は30度といわれています。冬はハウスや室内の日当たりの良い場所で育苗します。夜も保温して、寒さから守ってやりましょう。夏は暑過ぎて発芽しにくいので、種まきの前夜、濡らしたキッチンペーパーに種を挟んで冷蔵庫に入れておくと、比較的芽が出やすくなります。品種は時期に合ったものを選びましょう。ヒヨロヒヨロした苗にしないためには水管理が大事です。ビールケースやコンテナをひっくり返してその上にポットやセルトレイを入れた育苗箱を置くと、水はけがスムーズで生育が良くなります。ポット育苗では、本葉が2〜3枚になるころに間引いて1本立ちにしておきましょう。3〜4枚になったら定植です。